

第5回 日野市 ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 議事録

【第1部】 第3回 日野市交通バリアフリー基本構想 進行管理会議

日時：平成23年3月29日（火）13：30～16：25

場所：多摩平ふれあいの森 3階 集会室6

出席者（順不同・敬称略）

会 長	竹宮 健司（首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 教授）
副会長	吉田 樹（首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース助教）
委 員	有山 一博（日野市聴覚障害者協会）
	佐々木信行（ピープルファースト東京）
	田辺 邦夫（日野市視覚障害者協会）
	西久保修治（日野市老人クラブ連合会）
	早川 裕子（市民サポートセンター日野）
	藤井 恵（公募市民）
	藤田 博文（自立生活センター日野）
	（欠席）井上 敏夫（日野市商工会 会長）
	（欠席）大場 主雄（日野市社会福祉協議会 事務局長）
	（欠席）本吉 康浩（独立行政法人都市再生機構 東日本支社技術監理部 市街地設計チームリーダー）

関係行政・事業者等

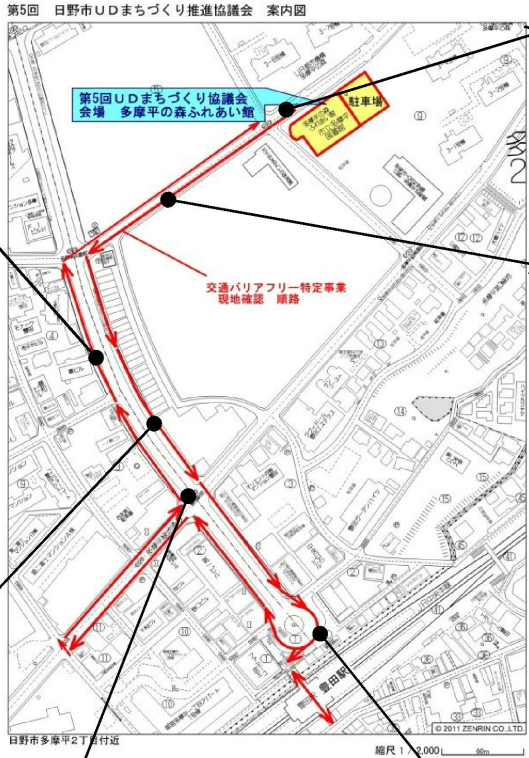
	（欠席）谷口 信二（日野警察署 交通課長）
	（欠席）柳館 安夫（日野警察署 交通課交通規制係長）
	岡村 邦夫（国土交通省相武国道事務所 交通対策課安全施設係長）
	久野 健一郎（東京都南多摩西部建設事務所 補修課長）
	宮田 守（日野市役所 道路課長）
	村林 典彦（日野市役所 道路課道路係）
	多田 房子（まちづくり部 都市計画課 課長）
	高津 徹（JR 東日本(株) 八王子支社 総務部企画室担当課長）
	本荘 祐（京王電鉄(株) 鉄道事業本部 計画管理部計画担当課長補佐）
	窪田 洋 代理：三浦（京王電鉄バス(株) 営業部営業第一担当課長）
	井上 喜央 代理：徳竹（西東京バス(株) 運輸部営業担当課長）
	脇本 徹也（多摩都市モノレール(株) 総務部総務課長）
	中澤 洋（南観光交通(株) 代表取締役社長）
日野市	大坪 冬彦 まちづくり部 部長
	（欠席）荻原 弘次 企画部長
	川久保 紀子 健康福祉部 部長
事務局	小俣 太郎 まちづくり部 都市計画課 係長
	百瀬 大介 まちづくり部 都市計画課 主査
書 記	寺島 薫 株式会社アークポイント 代表取締役
	平山 清美 株式会社アークポイント

1. 平成 22 年度 特定事業計画現地確認

- ・実施日時 2011 年 3 月 29 日 (13:30～14:30)
- ・現地確認ルート：下図の通り
- ・参加者：日野市UDまちづくり推進協議会委員、関係職員、事務局(含アークポイント)



豊田駅前通り西側歩道
連続する緩やかな坂道
既に整備完了



第5回 日野市UDまちづくり推進協議会 案内図

第5回UDまちづくり協議会
会場 多摩平の森ふれあい館

駐車場

交通バリアフリー特定事業
現地確認 順路

日野市多摩平2丁目付近

縮尺 1:2,000



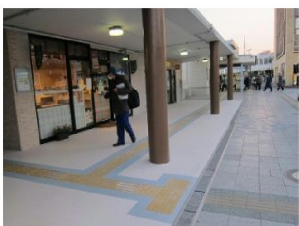
UR 団地内拡幅歩道



UR 団地内拡幅未整備
団地整備時に歩道拡幅
予定



豊田駅前通り東側歩道
既に整備完了





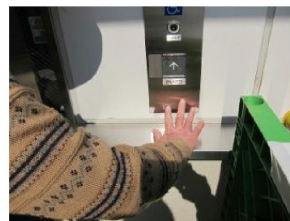
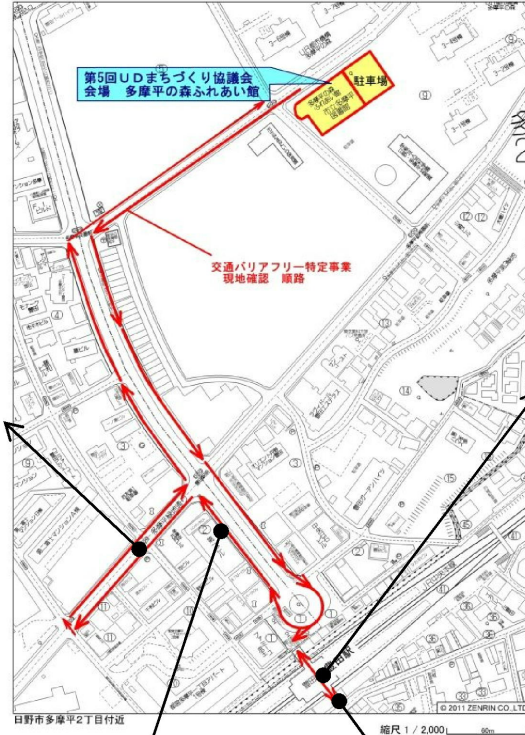

EV 呼出ボタンの点字確認。位置が低く、垂直面のため触知し難い



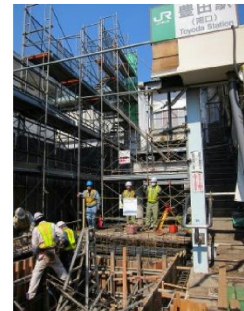
EV 手前のスロープが急こう配で、手動車いす使用者には負担が大きい



第5回 日野市UDまちづくり推進協議会 案内図



EV 呼出ボタンの点字確認。
位置が低く垂直面のため、
腰と上部壁との見切りに
奥行 10 cm程度のカウンタ
ーがあるため触知し難い。



エスカレーター
が工事中。H23 年
度完成予定

2. 進行管理会議（諮問／答申）15：00-16：00

（1）特定事業計画概要及び進捗状況説明（資料2・資料4のP2）

（2）特定事業の整備経過報告（資料4）

・道路事業

- ①東京都南多摩西部建設事務所、
- ②日野市道路課、
- ③日野市都市計画課

・公共交通事業

- ④JR 東日本、⑤京王電鉄、
- ⑥京王電鉄バス、⑦西東京バス

・交通安全事業

- ⑧日野警察



（3）評価改善に向けての意見交換

（※諮問第4号 平成22年度日野市交通バリアフリー特定事業計画の評価点検について）

委員／昭和49年に日野市の都市計画として、完成したが、現在残っているのは中央線の立体交差だけ。聞くとところによると、平成23年12月にふれあいホールが完成するので、それに合わせて平成24年2月～3月には立体交差が完成し、車は一方通行するというらしいが、整備経過報告では説明がなかった。どういう状況になっているのか？

事務局／中央線と都市計画道路の立体交差事業について。

そこは、特定事業に入っていない。今回は日野市交通バリアフリー基本構想の特定事業の進捗状況の報告ということで、了承して頂きたい。立体交差については、他で情報提供をしているので、そちらを参考にして頂きたい。

委員／この件に関して、2年や3年の話ではなく、40年も進んでいない事業である。地元で区画整理に協力した地主は不満を持っている。近くの公園などが整備されているが、総合的にできていない。また、ミニバスも通っていない。

会長／今回は特定事業の報告ということなので、ご理解頂きたい。

南多摩西部建設／担当が違うので、立体交差事業をやっているということは分かるが、詳細が分からないので、お答えができない。申し訳ありません。

委員／京王電鉄バスについて。ミニバスがノンステップ化されて、座席数が減ってしまっている。高齢者が利用することが多いが、座れず、立っていることが多々ある。座席数が増やすことができないのか？

京王バス／ミニバスをノンステップにしてから座席数が減ってしまった点について認識している。ノンステップで座席を増やすと、バスの大きさが大きくなってしまっているので、今の経路を走ることができなくなってしまう。問題意識はあるので、日野市と相談しながら進めている。

委員／計画停電で電車の本数が減ってしまっていることは納得する。しかし、電車が走っていてもエレベーターが使えないのであれば意味がない。計画停電中にエレベ

ーターを動かすなど、対応して頂くことができないのか？

前回、自動券売機の画面が反射して見にくいという意見を出したが、その後、改善しているのか？

京王電鉄の車いすスペースについて、7000 系については設置されていないのではないのか？

京王電鉄 / 計画停電以外は使えるようになっているが、計画停電中は電源確保が難しいため、エレベーターを動かすことが難しい。

券売機の画面の映り込みについて LED の位置を変更するなどして、対策している駅（百草園駅）もある。

車いすスペースについて、7000 系でも設置をすすめている。通常走っている電車は平成 22 年度末までに少なくとも 1 か所は設置されている。また、予備車両についても平成 23 年度末までには設置予定である。

委員 / 豊田駅のスクランブル交差点付近の歩道（資料 2 の豊田駅周辺の重点整備地区の 16-2 の部分）が狭いままである。今後、どうなるのか？

道路課 / 歩道を広げるとバスが曲がるができなくなってしまうため、バス会社との協議の結果、現状のままである。今の歩道より狭くなることはないが、歩道を広げることは難しい。

委員 / ホームでの安全について。視覚障害者にとってホームは危険な場所で、一人歩きしている人にとって、ホームから落ちたことがない人はいないぐらいである。自分も 3 回落ちている。ホーム柵の計画は具体的にあるのか？

JR 東日本 / 視覚障害者の危険について、認識はしている。

ホーム柵について、山手線の全ホームで設置を目指している。目黒駅と恵比寿駅は設置済である。ドアを設置したことによって、どうなるのか、観察している状況である。その結果を踏まえて、山手線全ホームに設置予定である。また、山手線の次は中央線など、特急車両など様々は車両が通っている路線はどうするのか課題である。国とも調整をして、検討しているところである。

京王電鉄 / 乗降者が一番多い新宿駅で平成 23 年度以降検討している。ただ、ホームが狭い中、ホーム柵をつけるとさらにホームが狭くなってしまう。また、バリアフリールートの確保ができなくなってしまうこともある。この様な課題をどの様に解決できるか手探りである。ホーム柵が視覚障害者や一般のお客様の命を守る最後の砦という認識は十分にあるため、今後の検討課題としている。ホーム柵の設置は時間がかかるので、当面のあいだの対応として内方線のある視覚障害者誘導用ブロックの設置を進めている。

委員 / 電車に乗っていて突然止まってしまった場合、音声での案内はあると思うが、車内の電光掲示での案内がないためとても不安になる。技術的な問題もあると思うが、音声の内容をリアルタイムで文字できると良い。

京王線も全車両に車内の電光掲示がついていないと思うのだが、何%ぐらい設置されているのか？また、100%設置にはどれくらいかかるのか？

バスの運転手について、聴覚障害者とコミュニケーションすることが大変である。「時間がないので出来ない」と言われることもあるので、指導をお願いします。

京王電鉄 / 車内の電光表示板の設置率について、手元に資料がないので後日事務局を通して回答する。

【回答】①整備率：98%(平成 23 年 3 月末現在)

②整備完了予定：平成 24 年度

駅と駅の間で止まってしまった場合、電光表示がある車両の場合はその電光表示で電車が止まってしまっている区間を案内できるようにしている。

JR 東日本 / 中央線はすべての車内に電光表示があるので、どの区間で止まっているかが分かる様に表示している。また、駅構内にも大きな電光表示板があるので、運休区間などはそこで表示している。

委員 / JR はすべての車両に電光表示が設置されていないのではないかと？

JR 東日本 / 中央線の車両にはすべて設置されている。青梅線も平成 22 年 11 月にすべて設置された。

委員 / 3 月 14 日に第 8 回東京都福祉のまちづくり推進協議会の専門部会が開催され、百草駅の評価があった。その中で放置自転車について問題になった。

道路交通法が改正され、歩道を走ることができる時点が限られているが歩道を走っている自転車がある。

平成 17 年 6 月に整備された豊田駅周辺の自転車通行可能エリアがどの範囲なのかが分かりにくい。

“ここから通っても良い” “ここからはダメ” という標識がない。ため、若い人が普通に自転車で歩道を走っている。その様な人たちに守ってもらわないと事故になる。

委員 / 豊田駅構内のトイレのサインが改札の外からでも見えるぐらい大きくて見やすい。

しかし、多機能トイレのサインは小さくて見にくい。もう少し、見やすくしたらどうか？

JR 東日本 / 社内に持ち帰って検討する。

(4) 諮問第 4 号についての答申

会長 / 以下について引き続き取り組まれるようお願い致します。

①安全面に関して指摘された事項につきましては、優先順位を高めて検討していただけるようにお願いします。

②利用者の意見を取り入れていく進め方は、今後も継続していただけるようにお願いします。

③ソフト面（バスの運転手とのコミュニケーションや自転車の走行ルール・迷惑駐輪の排除など）についても意見が出ているので、工夫や改善をお願いします。

以上をもって答申と致します。

(5) 日野市交通バリアフリー基本構想の改定について（資料 5）

資料 5 交通バリアフリー基本構想改定の工程(案)について、事務局より説明。

第5回 日野市 ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 議事録

【第2部】 白書の作成・推進計画の策定（諮問／答申）

日時：平成23年3月29日（火）16：35～17：10

場所：多摩平ふれあいの森 3階 集会室6

出席者（順不同・敬称略）

会 長 竹宮 健司（首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 教授）
副会長 吉田 樹（首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース助教）
委 員 有山 一博（日野市聴覚障害者協会）
佐々木信行（ピープルファースト東京）
田辺 邦夫（日野市視覚障害者協会）
西久保修治（日野市老人クラブ連合会）
早川 裕子（市民サポートセンター日野）
藤井 恵（公募市民）
藤田 博文（自立生活センター日野）
（欠席）井上 敏夫（日野市商工会 会長）
（欠席）大場 主雄（日野市社会福祉協議会 事務局長）
（欠席）本吉 康浩（独立行政法人都市再生機構 東日本支社技術監理部
市街地設計チームリーダー）

日野市 大坪 冬彦 まちづくり部 部長
（欠席）荻原 弘次 企画部 部長
川久保 紀子 健康福祉部 部長

事務局 多田 房子 まちづくり部 都市計画課 課長
小俣 太郎 まちづくり部 都市計画課 係長
百瀬 大介 まちづくり部 都市計画課 主査
書 記 寺島 薫 株式会社アークポイント 代表取締役
平山 清美 株式会社アークポイント

1. 白書の作成について

（※諮問第3号 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進条例第11条に規定する白書の作成について）

委員／ふれあいホールについてはUDのみ載せているということで良いのか？ふれあいホールに防火水槽や備蓄倉庫などの設備もあるが、今回の白書ではUDに絞って載せることで良いと思う。

副会長／今回の白書は現状について整理されているが、今後、第2号を発行するにあたり、

今後の課題を1ページだけでも載せてはどうか？

今回は、「段差解消がどれくらい行われているのか？」など、数量を見ていて、品質については問うていない。「使える・使えない」も必要ではないか？掲載されている写真を見ても、古い基準で整備されているもの、新しい基準で整備されているものがあるので、品質についても重要だと思う。

委員 / 障害当事者として白書を読んだが、内容に変わりがないと感じ、がっかりした。また、聴覚障害者の意見としてメールをした内容（3月29日の朝、送付されたメール）も白書に入れてほしい。

事務局 / 今回は間に合わなかったが、メールで頂いた内容は最終的にP33の「市民からみた“ユニバーサルデザインのまちづくり”への期待」に追記する。

委員 / P37のコラムの「暖かい」の漢字が誤字では？「温かい」か「あたたかい」とひらがなが良いのではないかな？

事務局 / ひらがなの「あたたかい」に修正する。

委員 / 佐々木委員も読めるように、準備が必要ではないかな？

委員 / 出来るだけルビ付けてもらえれば、読めるようになる。

事務局 / すべてにルビを付けることは無理かもしれないが、できるだけルビを付けるようにする。

委員 / 団体名は「自立生活センター日野」で、「支援」を削除して下さい。

委員 / 「市民サポートセンター」の最後に「日野」を追加して下さい。

2. 諮問第3号についての答申

会長 / 以下について対応して頂きますようお願い致します。

①「今後の課題」について検討、追加して頂けるようにお願いします。

②頂いた意見を「市民からみた“ユニバーサルデザインのまちづくり”への期待」へ反映していただけるようにお願いします。

以上をもって答申と致します。

3. 推進計画策定の概要について

（※諮問第5号 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進条例第8条に規定する推進計画の策定について）

委員 / 多面的な視点を持って、UDの計画を作ることは大切だと思う。特に「安心・安全のまちづくり」や「福祉計画」との関係の中でハードの面やソフト面から考える必要がある。

具体的に昭和20年～昭和30年頃から住んでいる人は第一小学校（日野駅周辺）・第二小学校（豊田駅周辺）・仁徳小学校（高幡不動駅周辺）・平山小学校の4つの生活圏で生活している人が多い。日野市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区から平山小学校の生活圏が抜けている。多摩丘陵に住んでいて、車が運転できない人たちが駅に行くためには歩くしかない。

高齢者が増えてきている中、平山城址公園駅のバリアフリーなど、今まで目が届いていなかった箇所も視野に入れて整備してもらえると良い。

会長 / 今回の推進計画の中でどのエリアが対象になるのかも検討が必要ではないか？

副会長 / 建築物の対象範囲はどの範囲になるのか？

事務局 / 今は市の公共建築物を考えている。民間の建築物にどこまで波及できるのかは、今後、議論して必要がある。例えば、ある一定規模の大きさのレストランなど、皆が行くところから具体化していく必要があると考える。

副会長 / 市の公共建築物からはじめて行くことで良いと思う。武蔵野市は「交通」という言葉を取ってしまった。理由は「移動すること」が主目的ではなく、「活動すること」を目的として、人が動いていると考えると目的地側の建築物でしっかりと「活動ができるか」が大切である。敢えて大手百貨店や駅ビルも含めて考える。ただし、特定事業として建物側に「整備するように」と言うだけではハードルが高いので、「今まではこの様な整備をしてきました」という話を聴きながら、委員と一緒に歩いて「ここはこうして欲しいよね」という議論をするところからスタートするという位置づけになった。

以上のことを含めて、建築物の対象をどこまでにするのかを引き続き検討してほしい。

会長 / かなりの頻度で会議が開かれるが、スケジュール的には大丈夫か？

事務局 / 今はこのスケジュールで考えているが、1 年以内で決定しなければいけないということはない。

委員 / 合理的に進められるように工夫してほしい。

事務局 / 合理的かつ効率的に進められるように工夫したい。

委員 / 他に 1～2 人が一緒に参加することはできるか？

事務局 / 想定していなかったが、他のメンバーも参加できるように検討していきたい。

会長 / 白書の第 2 号はどの様に考えているのか？

事務局 / 白書の第 2 号は、第 1 号を発展したものを考えている。平成 23 年度に作成することは難しいかもしれないが、推進計画を作成し、平成 24 年度に白書を作成するような流れで考えていきたい。

4. 諮問第 5 号についての答申

会長 / 以下について対応して頂きますようお願い致します。

①今まで目が届いていなかった箇所も視野に入れて整備して頂けるようお願い致します。

②対象建築物について引き続き検討していただけるようお願い致します。

以上をもって答申と致します。